

※ご記入の前に、必ず「札幌市住宅資金融資制度のご案内（高齢者・障がいのある方の住宅リフォーム、木造住宅の耐震改修を行う方のための資金融資）」をお読みください。

※申込書は複写式となっておりますので取り扱いにご注意ください。

※書き方の不明な個所がありましたら、申し込みの際、窓口におたずねのうえ記入してください。

平成 年度 札幌市住宅資金融資申込書（記入方法）

取扱金融機関 御中  
（あて先）札幌市長  
平成 年 月 日

申込受付 平成 年 月 日		フリガナ (氏) (名)		印	
取扱金融機関名 本店支		氏名		TEL( )-( )-( )	
取扱い店受付番号No.		現住所 札幌市 区		TEL( )-( )-( )	
		生年月日 昭和 年 月 日生 (満 歳)			
		勤(営)務(業)先 名称		勤務(営業)年数 年 月	
		所在地		TEL( )-( )-( )	

申込書は、申込者ご本人が記入してください。

有担保融資の方は、印鑑登録印を使用してください。無担保融資の方は銀行の届出印を使用してください。（今後の手続きはこの印鑑を使用願います。）

住民票に記載されている住所を記入してください。

支店、出張所勤務の場合は、その住所、電話番号を記入してください。

次のとおり住宅資金の融資を申し込みます。

行工 う事 宅を	所有者	1. 申込者 2. 申込者と共有 3. 申込者以外	所有者(共有者)の氏名 (続柄)	申込者の前年収入(又は所得)内容と金額			
	取得年月	昭和 平成	年 月	1. 給与所得のみ	収入金額	千円	
資金 及 び 返 済 計 画	資金名・借入先等			金額		返済年数	毎月返済額
	札幌市住宅資金			千 万 百 万 十 万 万	万円	年	円
	金融機関名( )			抵当権設定 有・無		年	円
	その他( )			万円		年	円
	自己資金			万円			
公的支給・補助金等			万円				
合計(=工事費用)			万円			円	
現在 返 済 中 の 借 入 金	借入先名		借入額	毎月の返済額	返済終期	担保の有無	
			万円	円	年 月	有・無	
			万円	円	年 月	有・無	
			万円	円	年 月	有・無	
			万円	円	年 月	有・無	
合計			万円	円			

- ア. 前年の収入が「給与所得のみ」の方は、1を○で囲み、収入金額（給与所得控除前のもの）を記入してください。
- イ. 前年の収入が「給与所得以外の収入のみ」の方は、2を○で囲み、事業所得、不動産所得、利子所得、配当所得の合計所得金額（必要経費を差し引いたもの）を記入してください。
- ウ. 前年の収入が「給与所得」と「給与所得以外の収入」の両方ある方は、3を○で囲み、給与所得（給与所得控除額を差し引いたもの）と上記イの所得金額の合計所得金額を記入してください。

各借入金ごとに、毎月返済額を記入してください。

現在の住宅が申込者以外の所有の場合、所有者の氏名と続柄を記入してください。共有の場合は共有者の氏名と続柄を記入してください。

札幌市住宅資金以外に借入予定がある場合は借入先（金融機関名等）と借入予定金額を記入してください。

介護保険法、障害者自立支援法の住宅改修費の公的支給などや国、道、市区町村の他の補助金等の交付を受ける予定がある場合に、その支給や交付などの金額を記入してください。

工事の予定額を記入してください。なお「工事計画」欄の工事費及び見積書の金額と一致するよう留意してください。（1万円未満は切り捨てて記入。）

現在返済中の借入金がある場合は、借入先、借入額、毎月返済額（ボーナス併用の場合、その旨を記入し2段書き）等を記入してください。

（ご注意）ボールペンで強くおさえて記入してください。

（裏面に続く）

土地の所在・地番（登記上）を記入してください。

着手予定日は、申込受付から結果通知までおおむね1カ月程度の審査期間を見込んで記入してください。既に工事着手又は完了している場合は融資対象になりませんので、ご注意ください。

見積書の金額と一致するよう留意してください。（総工事費のみ記入してください。）

見積書の工事施工業者名と一致するよう留意してください。

住民票と同じように記入してください。なお、続柄は申込者から見た続柄を記入してください。（高齢の方などと同居することを条件としてお申込みの場合は、同居予定者を記入してください。）

リフォーム工事計画 (札幌市審査項目)	所在地(登記上)	札幌市 区					
	家屋所有者	住所		氏名		続柄	
	土地所有者	住所		氏名		続柄	
	構造	1. 木造 2. 準耐火 3. 耐火		階数	地上階/地下階		
	延べ床面積(うち住宅部分)	工事前 ( ) m <sup>2</sup>	+	(増築部分) ( ) m <sup>2</sup>	=	工事後 ( ) m <sup>2</sup>	
	敷地面積	( ) m <sup>2</sup>	建築確認の状況	<input type="checkbox"/> 確認済 ( 年 月 日 ) <input type="checkbox"/> 申請中 ( 年 月 申請 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	建築年月	昭和 年 月	平成 年 月	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障がい者 <input type="checkbox"/> 耐震改修			
	※工事をを行う住宅に居住される方のうち、年齢が満55歳以上の方又は身体障害者手帳等の交付を受けている方について記入してください（耐震改修を行う場合は、記入の必要はありません。）。						
	氏名		続柄		年齢	満 歳	手帳の有無 有・無
	住所						
融資対象工事の具体的内容							
着手(予定)月日	平成 年 月 日	完了(予定)月日	平成 年 月 日				
工事費(見積り)	総工事費 円		内融資対象工事費 円 公的支給・補助金等対象工事費 円 融資対象外工事費 円				
工事施工(予定)業者							
申込者(同居予定者を含む)と同居の人の氏名	続柄	年齢	職業	前年の収入(千円)	備考		
	本人						

10㎡を超える増築の場合は、「建築確認申請」が必要です。なお、防火地域、準防火地域については、10㎡以下でも「建築確認申請」が必要です。

身体障害者手帳、療育手帳の有無を記入してください。

の該当する箇所に✓の表示をしてください。（工事内容の記入例）  
 ●父母の寝室の増築  
 ●浴槽を障がい者が入りやすいように改造

完了予定月日は、着手予定月日から判断して、確実に完了する日を記入してください。

### リフォーム工事に関する見積書（例）

(注) 書式は自由です。ただし、この例の内容を含んだものとし、「〇〇工事一式△△△円」ではなく、工事内容が分かるよう数量、単価等を含んだ明細書にしてください。

消費税込みの金額を記入してください。（非課税の場合は、その旨を明示してください。）

工事費のうち、介護保険法、障害者自立支援法の住宅改修費の公的支給などや国・道・市区町村の他の補助金等（住宅エコポイントを含む。）の交付などを受ける予定がある場合は、その対象工事費と、対象工事の概要を内訳で記入してください。

依頼者へのお見積書提出日

公的支給・補助金等対象工事と、分けて記入してください。

密度、厚さ、形状等を記入してください。

材料費と工賃が合算されている場合は、適用欄に材工共と記入してください。

## 見 積 書

- 〇〇〇〇様
- 工 事 名 〇〇〇〇 邸 住宅リフォーム工事
- 工 事 場 所 札幌市 〇〇 区 〇 条 〇 丁目 〇-〇
- 工事見積金額 金 円  
(内 公的支給・補助金等対象工事費 金 円)
- 工事の概要 (内 公的支給・補助金等対象工事概要： )
- 年 月 日
- 会社名・住所・代表者名・電話番号 (代表者印)
- 内訳明細書

名 称	仕様・寸法	単位	数量	単価	金 額	摘 要

借入申込者氏名

他の名称でも構いません。

具体的に記入してください。（例）風呂、トイレを高齢者向けにする。

工事範囲（室名等）、材工共等を記入してください。

なるべく工事区分ごとに小計してください。